

# 令和6年度第2回ジュニア・市政モニターアンケート結果

## テーマ 「子どもの読書活動の推進について」

- (1) 目的 相模原市の図書館では、子どもがたくさんの本に出会い、読書を通して生きる力を育むことができるよう、子どもの読書活動を推進するための様々な取組を行っています。
- 今後の取組の参考とするため、アンケート調査を実施させていただきました。
- (2) 回答者数 174人
- (3) 調査期間 令和6年10月2日(水)から10月23日(水)まで
- (4) 結果要約 読書について尋ねた設問(問3)では「本を読むことは好き」、「どちらかといえば好き」の割合の合計が86.2%を占め、多くの子どもが読書を好んでいることが分かりました。一方で、1か月に1冊以上本を「読まない」(問6)とした子どもの割合が37.9%となっており、その理由(問6-1)は「忙しいから」(58.0%)、「読みたい本がないから」(30.4%)、「SNSの方が好きだから」(30.4%)が上位3項目となりました。
- また、図書館を利用する理由(問8)としては「勉強をするため」が20.1%、「本や雑誌などを借りるため」が17.2%、「本や雑誌などを読むため」が11.5%という結果になっており、図書館が子どもの学習や読書の場として利用されていることが分かりました。
- なお、同じ設問で「図書館や公民館の図書室は利用しない」とする回答が32.8%となっており、その理由(問8-1)として「本は本屋さんで買うから」(28.1%)、「近くにないから」(15.8%)、「行く時間がないから」(14.0%)が上位となりました。
- 問11以降では、「くるくるとしょかん」と電子書籍サービスの取組等について伺いました。
- 「くるくるとしょかん」について、より効果的な取組にするための方法(問12)として「図書館員が保育園や児童クラブなどの子ども向けに「おすすめ児童書セット」の本を使ったおはなし会などを行う」(43.7%)、「「おすすめ児童書セット」に入れる本の数を増やす」(32.2%)、「「おすすめ児童書セット」に入れる本を新しいものにする」(30.5%)という結果となりました。
- 電子書籍サービスについて、書籍を増やす方針(問15)として「子どもに読みたい本のアンケートを取り、希望が多い本を増やす」が63.2%で最も多く、次いで「図書館員がおすすめする中学生向けの本を増やす」が30.5%の割合になりました。
- 電子書籍サービスの利用拡大(問16)のためには「先生から使い方の説明を行う」と効果的だと思うという回答が64.9%の割合になりました。
- その他、「くるくるとしょかん」や電子書籍サービスの事業評価の考え方について、参考となる貴重なご意見をいただくことができました。

※表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

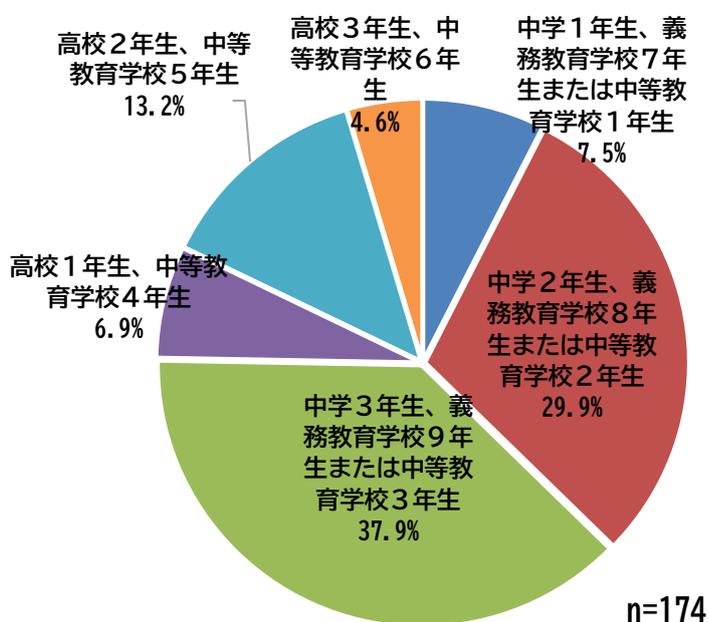
## 調査結果

### 【基本的項目について】

#### 【問1】あなたの学年をお答えください。(○は1つ)

- 1 中学1年生、義務教育学校7年生または中等教育学校1年生
- 2 中学2年生、義務教育学校8年生または中等教育学校2年生
- 3 中学3年生、義務教育学校9年生または中等教育学校3年生
- 4 高校1年生または中等教育学校4年生
- 5 高校2年生または中等教育学校5年生
- 6 高校3年生または中等教育学校6年生

選択肢	回答数	回答分布
中学1年生、義務教育学校7年生または中等教育学校1年生	13	7.5%
中学2年生、義務教育学校8年生または中等教育学校2年生	52	29.9%
中学3年生、義務教育学校9年生または中等教育学校3年生	66	37.9%
高校1年生、中等教育学校4年生	12	6.9%
高校2年生、中等教育学校5年生	23	13.2%
高校3年生、中等教育学校6年生	8	4.6%
計	174	100.0%

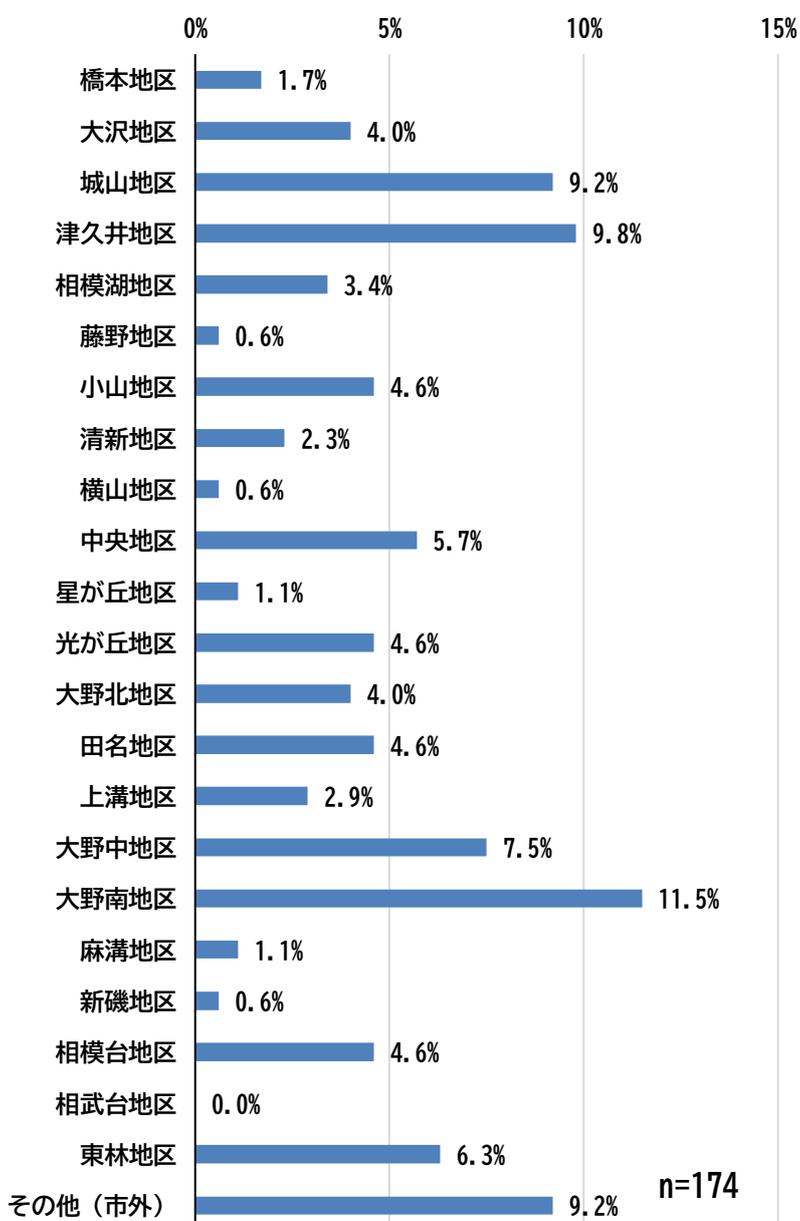


☆回答された方の学年は以上のとおりです。

【問2】あなたのお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)

【緑区】	【中央区】	【南区】	【その他】
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区	23 その他(市外)
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区	
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区	
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区	
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区	
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区	
	13 大野北地区	22 東林地区	
	14 田名地区		
	15 上溝地区		

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	3	1.7%
大沢地区	7	4.0%
城山地区	16	9.2%
津久井地区	17	9.8%
相模湖地区	6	3.4%
藤野地区	1	0.6%
小山地区	8	4.6%
清新地区	4	2.3%
横山地区	1	0.6%
中央地区	10	5.7%
星が丘地区	2	1.1%
光が丘地区	8	4.6%
大野北地区	7	4.0%
田名地区	8	4.6%
上溝地区	5	2.9%
大野中地区	13	7.5%
大野南地区	20	11.5%
麻溝地区	2	1.1%
新磯地区	1	0.6%
相模台地区	8	4.6%
相武台地区	0	0.0%
東林地区	11	6.3%
その他(市外)	16	9.2%
計	174	100.0%



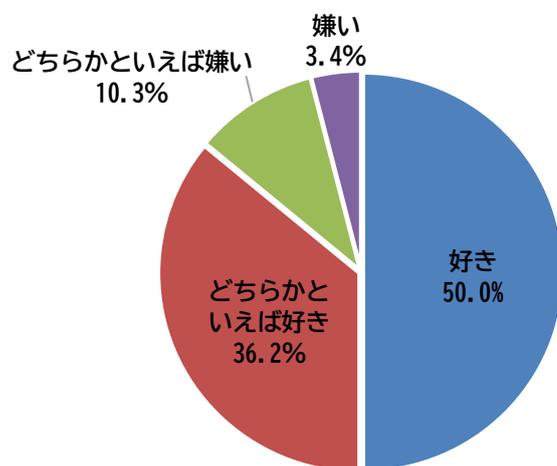
☆ 回答状況は以上のとおりです。

【読書や図書館の利用状況等についてお伺いします】

【問3】 あなたは、本を読むことは好きですか。(回答は1つ)

1 好き	3 どちらかといえば嫌い
2 どちらかといえば好き	4 嫌い

選択肢	回答数	回答分布
好き	87	50.0%
どちらかといえば好き	63	36.2%
どちらかといえば嫌い	18	10.3%
嫌い	6	3.4%
計	174	100.0%



n=174

☆ 本を読むことは「好き」、「どちらかといえば好き」を合計すると、86.2%の割合になりました。



【問5】 あなたが小学生の頃に読んだおすすめの「本の名前」または「本を書いた人の名前」を教えてください。(自由記入)

※多数頂いたご意見から抜粋して掲載しています。

《本の名前》

親指探し	「5分後に意外な結末」シリーズ	白夜行
「怪談レストラン」シリーズ	「サバイバル」シリーズ	ぼくらの七日間戦争
海底二万里	「十年屋」シリーズ	火垂るの墓
「科学探偵 謎野真実」シリーズ	名前探しの放課後	また、同じ夢を見ていた
かがみの孤城	ハーニャの庭で	「ミッケ！」シリーズ
君の隣臓をたべたい	ハチ公物語	「名探偵コナン」シリーズ
「黒魔女さんが通る!!」シリーズ	「ハリーポッター」シリーズ	四つ子ぐらし
五等分の花嫁	美女と野獣	ルパン三世カリオストロの城

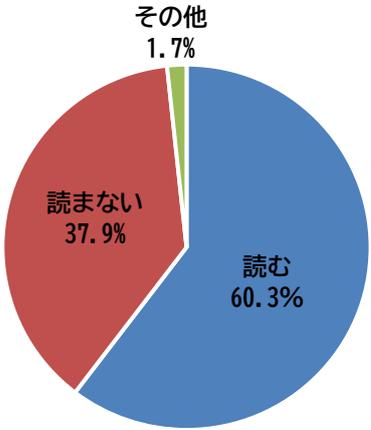
《本を書いた人の名前》

アガサ・クリスティ	中原中也	星新一
暁なつめ	中山七里	水野良
石崎洋司	西尾維新	道尾秀介
小野不由美	はやみねかおる	緑川聖司
金子みすゞ	原ゆたか	村上龍
朱川湊人	東野圭吾	室生犀星
宗田 理	藤本ひとみ	山田悠介
太宰治	ヘルマン・ヘッセ	ヨシタケシンスケ

【問6】 あなたは、1か月に1冊以上本を読みますか。(回答は1つ)

- 1 読む (⇒問7へ)
- 2 読まない (⇒問6-1へ)
- 3 その他 (具体的に： ) (⇒問6-1へ)

選択肢	回答数	回答分布
読む	105	60.3%
読まない	66	37.9%
その他	3	1.7%
計	174	100.0%



n=174

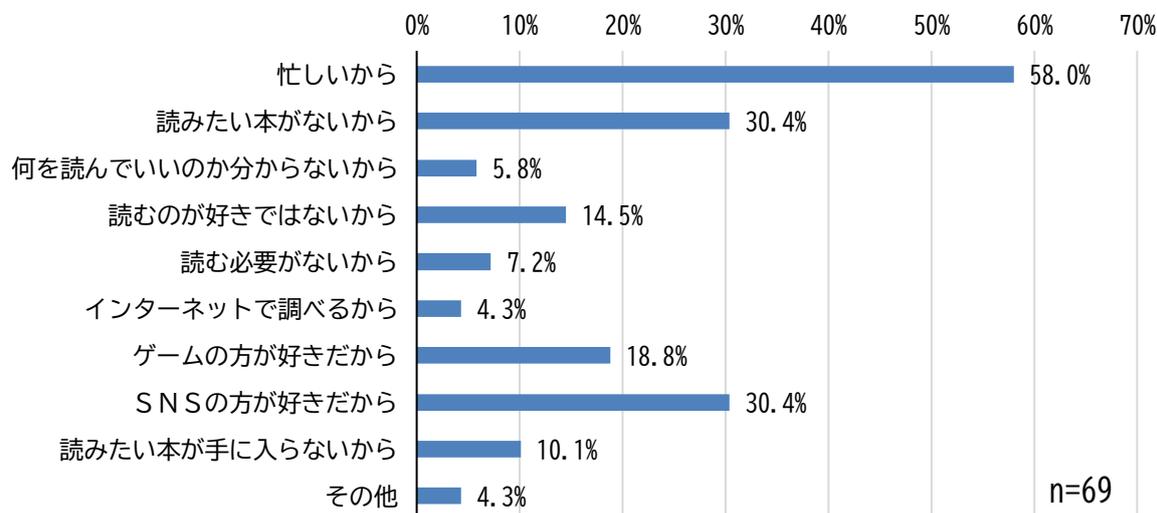
☆ 1か月に1冊以上本を「読む」が60.3%、「読まない」が37.9%の割合になりました。

《問6で「2」または「3」とお答えの方へ》

【問6—1】 あなたが1か月に1冊以上本を読まない理由は何ですか。(回答は3つまで)

1 忙しいから	6 インターネットで調べるから
2 読みたい本がないから	7 ゲームの方が好きだから
3 何を讀んでいいのかわからないから	8 SNSの方が好きだから
4 読むのが好きではないから	9 読みたい本が手に入らないから
5 読む必要がないから	10 その他(具体的に： )

選択肢	回答数	回答分布
忙しいから	40	58.0%
読みたい本がないから	21	30.4%
何を讀んでいいのかわからないから	4	5.8%
読むのが好きではないから	10	14.5%
読む必要がないから	5	7.2%
インターネットで調べるから	3	4.3%
ゲームの方が好きだから	13	18.8%
SNSの方が好きだから	21	30.4%
読みたい本が手に入らないから	7	10.1%
その他	3	4.3%



☆ 1か月に1冊以上本を読まない理由について、「忙しいから」が58.0%と最も多く、次いで「読みたい本がないから」、「SNSの方が好きだから」がいずれも30.4%という結果となりました。

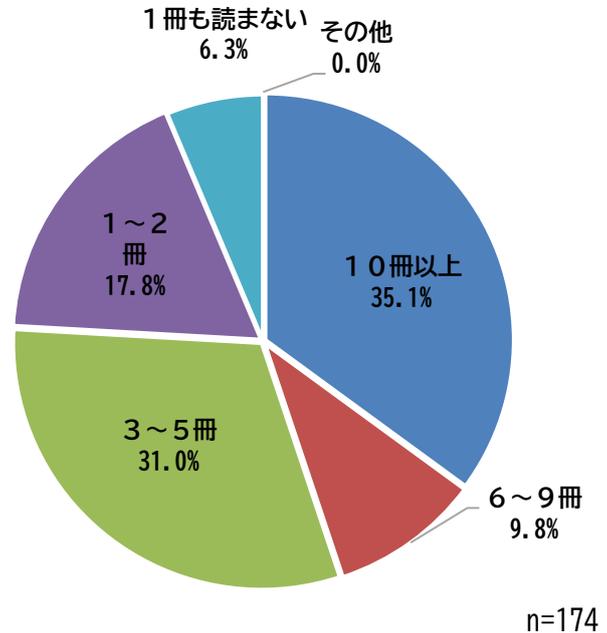
《その他の意見》

- ・二ヶ月で一冊読み終わります。
- ・1冊以上読む時とそうでない時がある。
- ・一冊の文章量が多いので、一ヶ月では読みきれないから。

【問7】 あなたは、1年間に何冊くらいの本を読みますか。(回答は1つ)

1	10冊以上	4	1～2冊
2	6～9冊	5	1冊も読まない
3	3～5冊	6	その他(具体的に： )

選択肢	回答数	回答分布
10冊以上	61	35.1%
6～9冊	17	9.8%
3～5冊	54	31.0%
1～2冊	31	17.8%
1冊も読まない	11	6.3%
その他	0	0.0%
計	174	100.0%



☆ 1年間に本を読む冊数が「10冊以上」が35.1%で最も多く、次いで「3～5冊」が31.0%、「1～2冊」が17.8%という結果となりました。

【問8】 あなたが相模原市の図書館や公民館の図書室を利用する理由は何ですか。（回答は1つ）

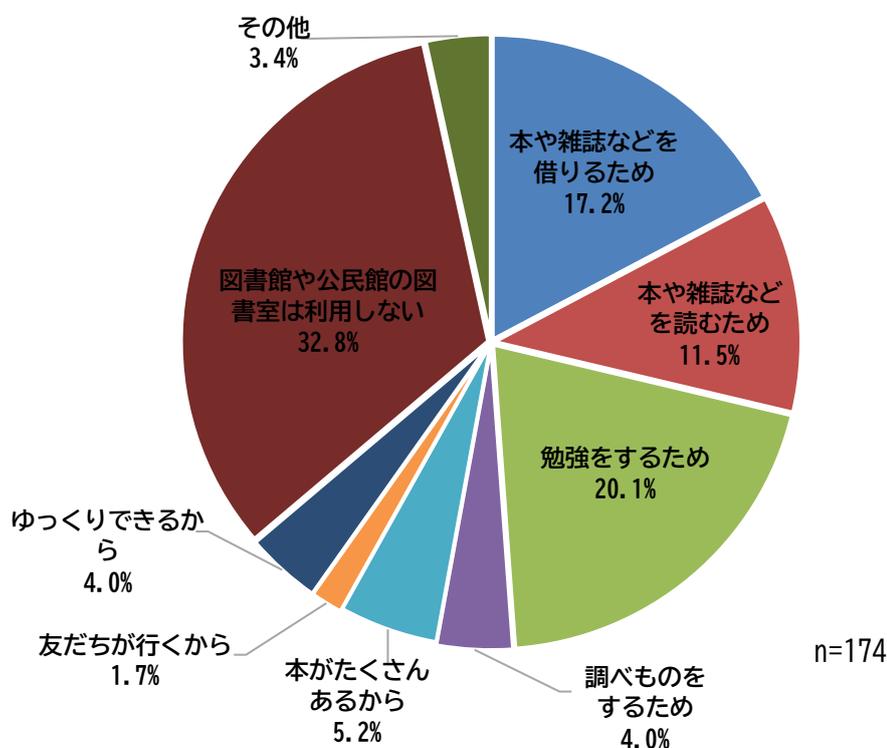
- |                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| 1 本や雑誌などを借りるため | 6 友だちが行くから                  |
| 2 本や雑誌などを読むため  | 7 ゆっくりできるから                 |
| 3 勉強をするため      | 8 図書館や公民館の図書室は利用しない（⇒問8-1へ） |
| 4 調べものをするため    | 9 その他（具体的に： ）               |
| 5 本がたくさんあるから   |                             |

選択肢	回答数	回答分布
本や雑誌などを借りるため	30	17.2%
本や雑誌などを読むため	20	11.5%
勉強をするため	35	20.1%
調べものをするため	7	4.0%
本がたくさんあるから	9	5.2%
友だちが行くから	3	1.7%
ゆっくりできるから	7	4.0%
図書館や公民館の図書室は利用しない	57	32.8%
その他	6	3.4%
計	174	100.0%

☆図書館や公民館の図書室を利用する理由について、「図書館や公民館の図書室は利用しない」が32.8%で最も多い回答でした。次いで「勉強をするため」が20.1%、「本や雑誌などを読むため」が11.5%という結果になりました。

≪その他の主な意見≫

- ・図書館にいかない、家にある
- ・相模原市在住ではないので市外の図書館でやっています



《問8で「8 図書館や公民館の図書室は利用しない」とお答えの方へ》

【問8-1】 その理由は何ですか。(回答は1つ)

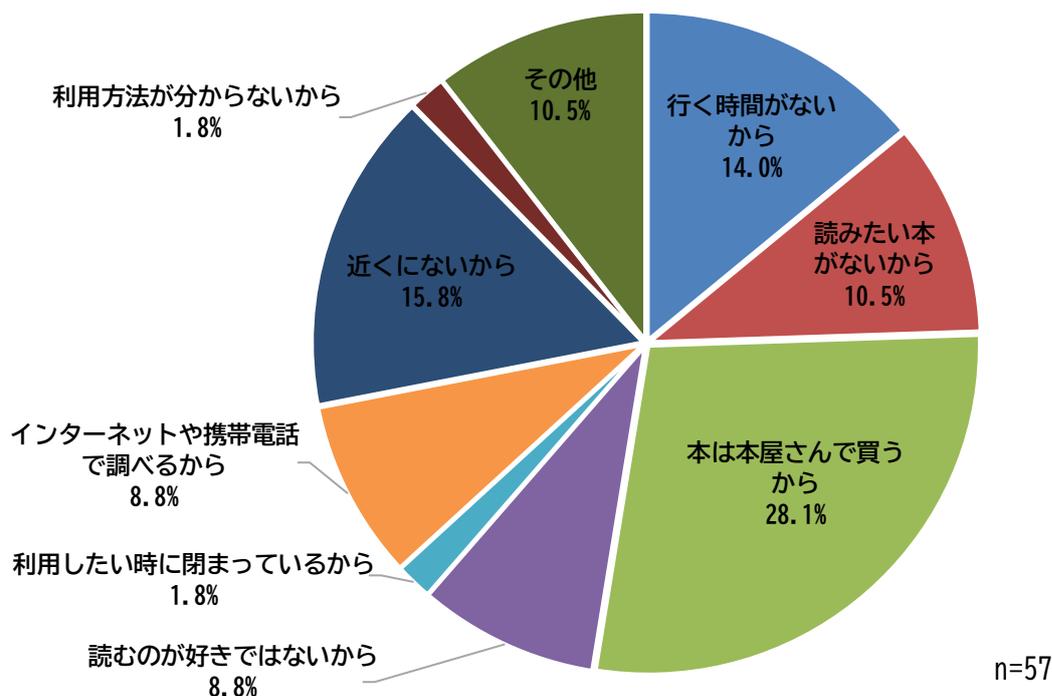
1 行く時間がないから	6 インターネットや携帯電話で調べるから
2 読みたい本がないから	7 近くにないから
3 本は本屋さんで買うから	8 利用方法が分からないから
4 読むのが好きではないから	9 その他（具体的に： )
5 利用したい時に閉まっているから	

選択肢	回答数	回答分布
行く時間がないから	8	14.0%
読みたい本がないから	6	10.5%
本は本屋さんで買うから	16	28.1%
読むのが好きではないから	5	8.8%
利用したい時に閉まっているから	1	1.8%
インターネットや携帯電話で調べるから	5	8.8%
近くにないから	9	15.8%
利用方法が分からないから	1	1.8%
その他	6	10.5%
計	57	100.0%

☆図書館や公民館の図書室を利用しない理由について、「本は本屋さんで買うから」が28.1%と最も多く、次いで「近くにないから」が15.8%、「行く時間がないから」が14.0%という結果となりました。

《その他の主な意見》

- ・1人は行きにくいから
- ・市外に住んでいるから
- ・他市の図書館のほうが充実しているから



【問9】 あなたは、どんな図書館や公民館の図書室なら利用してみたいと思いますか。(回答は1つ)

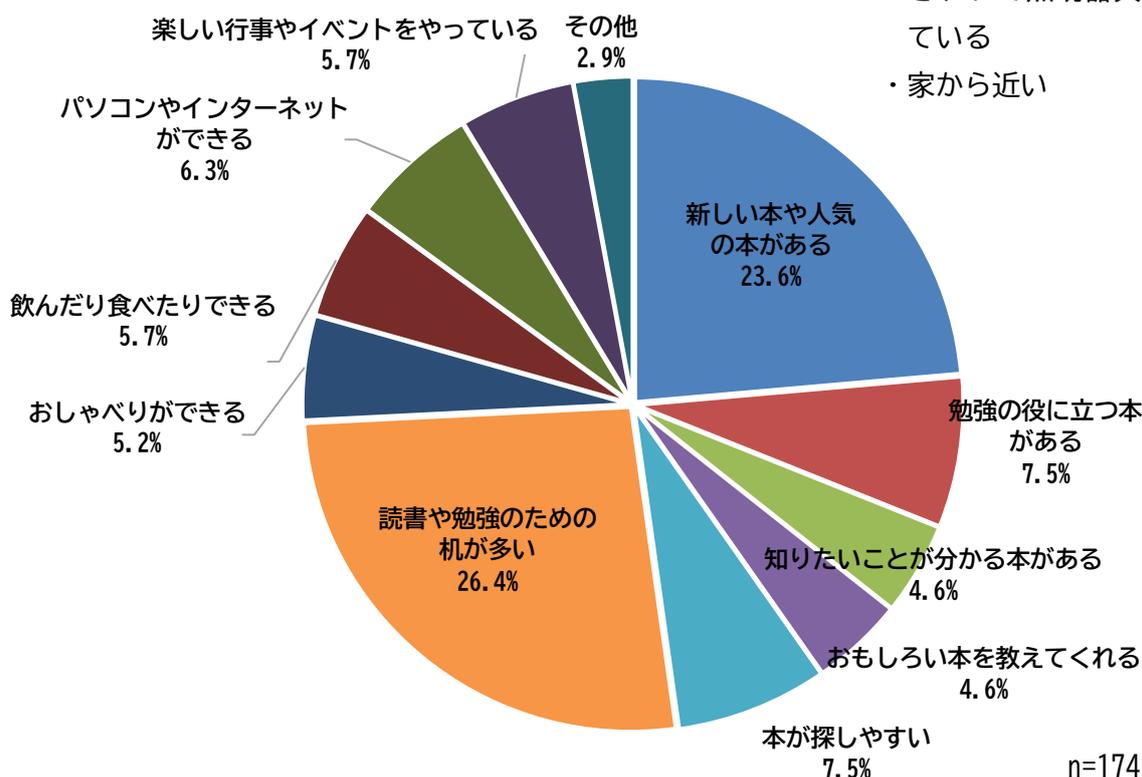
1 新しい本や人気の本がある	7 おしゃべりができる
2 勉強の役に立つ本がある	8 飲んだり食べたりできる
3 知りたいことが分かる本がある	9 パソコンやインターネットができる
4 おもしろい本を教えてくれる	10 楽しい行事やイベントをやっている
5 本が探しやすい	11 その他(具体的に: )
6 読書や勉強のための机が多い	

選択肢	回答数	回答分布
新しい本や人気の本がある	41	23.6%
勉強の役に立つ本がある	13	7.5%
知りたいことが分かる本がある	8	4.6%
おもしろい本を教えてくれる	8	4.6%
本が探しやすい	13	7.5%
読書や勉強のための机が多い	46	26.4%
おしゃべりができる	9	5.2%
飲んだり食べたりできる	10	5.7%
パソコンやインターネットができる	11	6.3%
楽しい行事やイベントをやっている	10	5.7%
その他	5	2.9%
計	174	100.0%

☆どんな図書館や公民館の図書室なら利用してみたいと思うかについて、「読書や勉強のための机が多い」が26.4%と最も多く、次いで「新しい本や人気の本がある」が23.6%、「勉強の役に立つ本がある」「本が探しやすい」がいずれも7.5%という結果となりました。

《その他の主な意見》

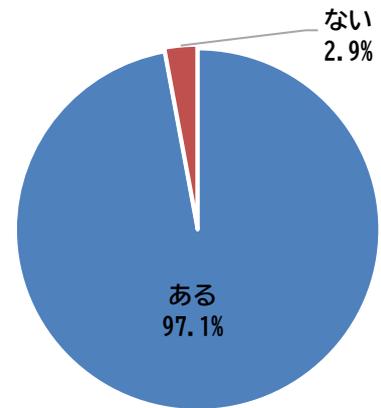
- ・蔵書数が多く、静かな図書館
- ・きれいで照明器具が充実している
- ・家から近い



【問 10】 あなたが子どもの頃に、家庭や図書館、学校などで読み聞かせをしてもらったことがありますか。(回答は1つ)

1 ある	2 ない
------	------

選択肢	回答数	回答分布
ある	169	97.1%
ない	5	2.9%
計	174	100.0%



n=174

☆ 子どもの頃に、家庭や図書館、学校などで読み聞かせをしてもらったことが「ある」が97.1%、「ない」が2.9%の割合になりました。

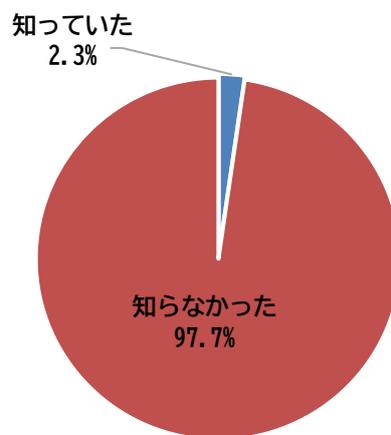
【「くるくるとしょかん」(子ども読書資料循環制度)についてお伺いします】

相模原市の図書館では、子どもの読書を応援するため、「くるくるとしょかん」(子ども読書資料循環制度)という取組を行っています。「くるくるとしょかん」は、図書館スタッフが選んだ絵本や紙芝居等の「おすすめ児童書セット」を、子どもに身近な保育園や児童館などの市立の子ども関連施設へ2ヶ月ごとに毎回違うセットを届けることで、子どもが、身近な施設で多くの本に気軽に触れることができるようにする取組です。令和6年度は市内118施設を対象に実施しています。

【問11】 あなたは、「くるくるとしょかん」の取組を知っていましたか。(回答は1つ)

1 知っていた	2 知らなかった
---------	----------

選択肢	回答数	回答分布
知っていた	4	2.3%
知らなかった	170	97.7%
計	174	100.0%



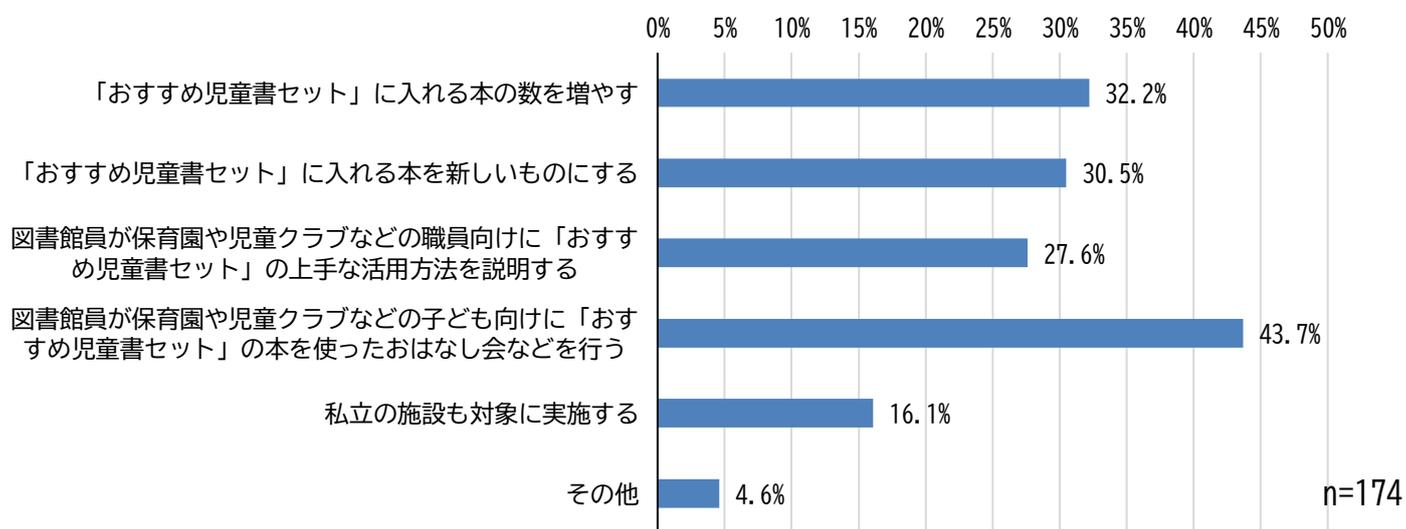
n=174

☆ 「くるくるとしょかん」の取組について、「知っていた」が2.3%、「知らなかった」が97.7%の割合になりました。

【問12】 「くるくるとしょかん」をより効果的な取組にするために、どうしたら良いと思いますか。  
 (回答は2つまで)

- |   |                                                     |
|---|-----------------------------------------------------|
| 1 | 「おすすめ児童書セット」に入れる本の数を増やす                             |
| 2 | 「おすすめ児童書セット」に入れる本を新しいものにする                          |
| 3 | 図書館員が保育園や児童クラブなどの職員向けに「おすすめ児童書セット」の上手な活用方法を説明する     |
| 4 | 図書館員が保育園や児童クラブなどの子ども向けに「おすすめ児童書セット」の本を使ったおはなし会などを行う |
| 5 | 私立の施設も対象に実施する                                       |
| 6 | その他(具体的に： )                                         |

選択肢	回答数	回答分布
「おすすめ児童書セット」に入れる本の数を増やす	56	32.2%
「おすすめ児童書セット」に入れる本を新しいものにする	53	30.5%
図書館員が保育園や児童クラブなどの職員向けに「おすすめ児童書セット」の上手な活用方法を説明する	48	27.6%
図書館員が保育園や児童クラブなどの子ども向けに「おすすめ児童書セット」の本を使ったおはなし会などを行う	76	43.7%
私立の施設も対象に実施する	28	16.1%
その他	8	4.6%



☆ 「くるくるとしょかん」をより効果的な取組にするための方法として、「図書館員が保育園や児童クラブなどの子ども向けに「おすすめ児童書セット」の本を使ったおはなし会などを行う」が43.7%と最も多く、次いで「「おすすめ児童書セット」に入れる本の数を増やす」が32.2%、「おすすめ児童書セット」に入れる本を新しいものにする」が30.5%という結果となりました。

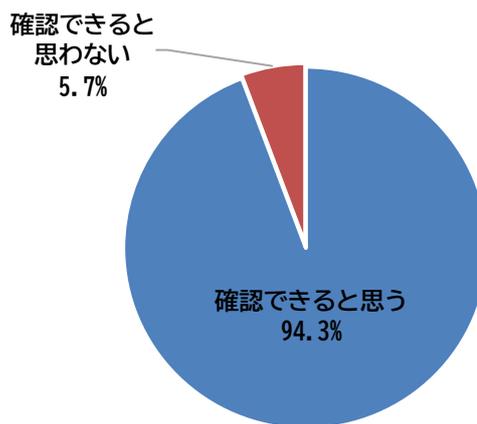
《その他の主な意見》

- ・どんな本を新しく入れてほしいのか、アンケートを取ることで、より興味が湧き、身近な存在になると思う。
- ・もっとくるくるとしょかんを知ってもらおう活動をする。学校でチラシを配ったり、学校にポスターを張ったり。
- ・「ミッケ」などのみんなで使えるものを入れた方が良いと思う。

【問 13】 「くるくるとしょかん」が効果的な取組になっているかどうかを確認するために、保育園や児童クラブを利用する子どもに対し、「あなたは、保育園や児童クラブなどの施設にくるくるとしょかんの本が届くことは嬉しいですか」という質問でアンケート調査をしたいと考えています。この質問でくるくるとしょかんが効果的な取組になっているか確認できると思いますか。  
(回答は1つ)

- |                        |
|------------------------|
| 1 確認できると思う             |
| 2 確認できると思わない (⇒問13-1へ) |

選択肢	回答数	回答分布
確認できると思う	164	94.3%
確認できると思わない	10	5.7%
計	174	100.0%



n=174

☆ 「あなたは、保育園や児童クラブなどの施設にくるくるとしょかんの本が届くことは嬉しいですか」という質問で、「くるくるとしょかん」が効果的な取組になっているかどうかを「確認できると思う」が 94.3%、「確認できると思わない」が 5.7%の割合になりました。

《問 13 で「2 確認できると思わない」とお答えの方へ》

【問 13-1】 どのような質問なら効果的な取組になっているか確認できると思いますか。(自由記入)

《その他の主な意見》

- ・ 子供は、本がたくさん読めることはわかっている、「本が届けられている」という意識はないと思うから、「本が届くことは嬉しいですか」という質問ではなく、「本がたくさん読めて嬉しいですか」などの質問にしたほうがくるくるとしょかんが効果的な取組になっているか確認できると思います。
- ・ 「どんな本なら嬉しいですか」と聞く。
- ・ 「くるくるとしょかん」の本を読みましたか。また、読んでどうでしたか。
- ・ 2択ではなく、具体的な意見を聞く。
- ・ あなたは、保育園や児童クラブなどの施設にくるくるとしょかんの本が届いたら、読んでいますか。
- ・ くるくる図書館の本が届いて、読んでみたいと思いますか、または読んだことがありましたか。

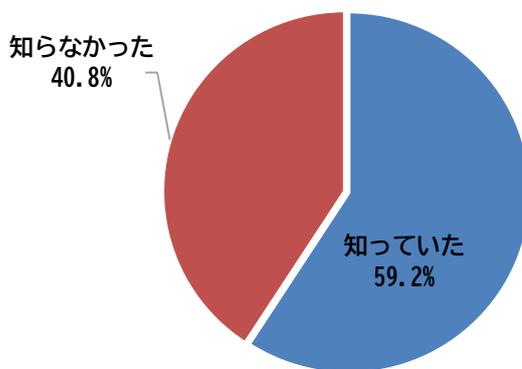
【「電子書籍サービス」についてお伺いします】

相模原市の図書館では、子どもの読書を応援するため、「電子書籍サービス」という取組を行っています。電子書籍サービスは、小中学生等が学校、家庭での学習時間や自由時間に、身近なスマートフォンやタブレット端末等からWebサイト上で電子の本（電子書籍）を読むことができる取組です。

【問 14】 あなたは、図書館の「電子書籍サービス」の取組を知っていましたか。（回答は1つ）

1 知っていた	2 知らなかった
---------	----------

選択肢	回答数	回答分布
知っていた	103	59.2%
知らなかった	71	40.8%
計	174	100.0%



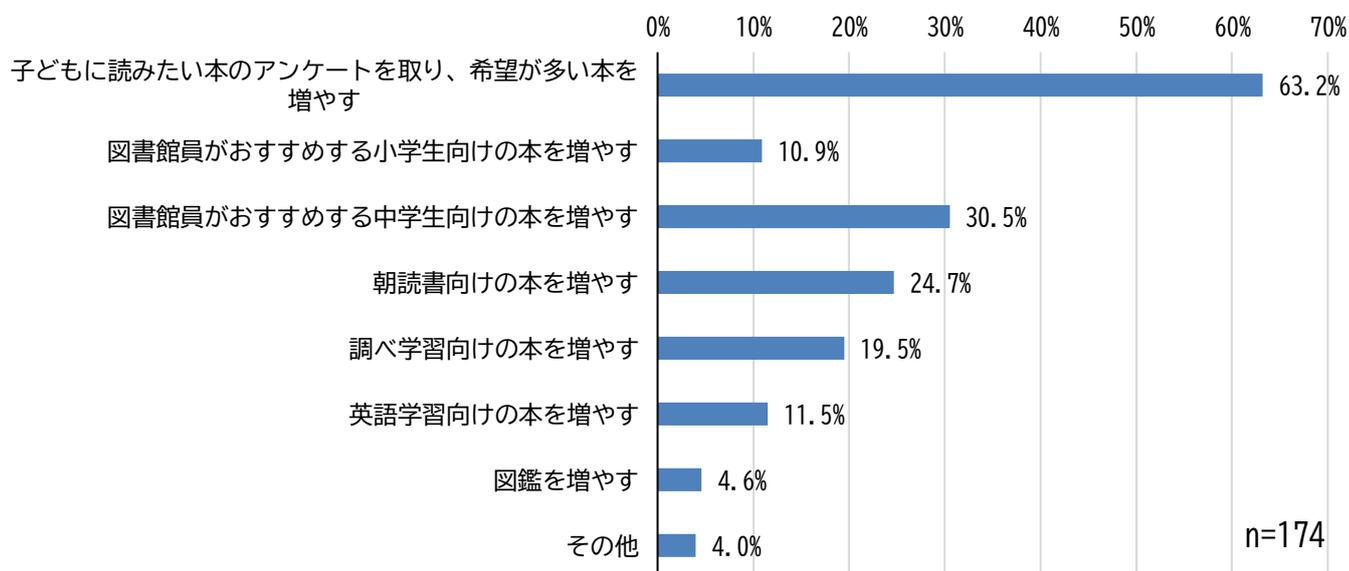
n=174

☆ 「電子書籍サービス」の取組について、「知っていた」が59.2%、「知らなかった」が40.8%の割合になりました。

【問 15】 電子書籍サービスをより効果的な取組にするために、どのような方針で電子書籍を増やすと良いと思いますか。(回答は2つまで)

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1 | 子どもに読みたい本のアンケートを取り、希望が多い本を増やす |
| 2 | 図書館員がおすすめる小学生向けの本を増やす         |
| 3 | 図書館員がおすすめる中学生向けの本を増やす         |
| 4 | 朝読書向けの本を増やす                   |
| 5 | 調べ学習向けの本を増やす                  |
| 6 | 英語学習向けの本を増やす                  |
| 7 | 図鑑を増やす                        |
| 8 | その他(具体的に： )                   |

選択肢	回答数	回答割合
子どもに読みたい本のアンケートを取り、希望が多い本を増やす	110	63.2%
図書館員がおすすめる小学生向けの本を増やす	19	10.9%
図書館員がおすすめる中学生向けの本を増やす	53	30.5%
朝読書向けの本を増やす	43	24.7%
調べ学習向けの本を増やす	34	19.5%
英語学習向けの本を増やす	20	11.5%
図鑑を増やす	8	4.6%
その他	7	4.0%



☆ 電子書籍サービスをより効果的な取組にするために、どのような方針で電子書籍を増やすと良いと思うかについて、「子どもに読みたい本のアンケートを取り、希望が多い本を増やす」が63.2%で最も多く、次いで「図書館員がおすすめる中学生向けの本を増やす」が30.5%の割合になりました。

《その他の主な意見》

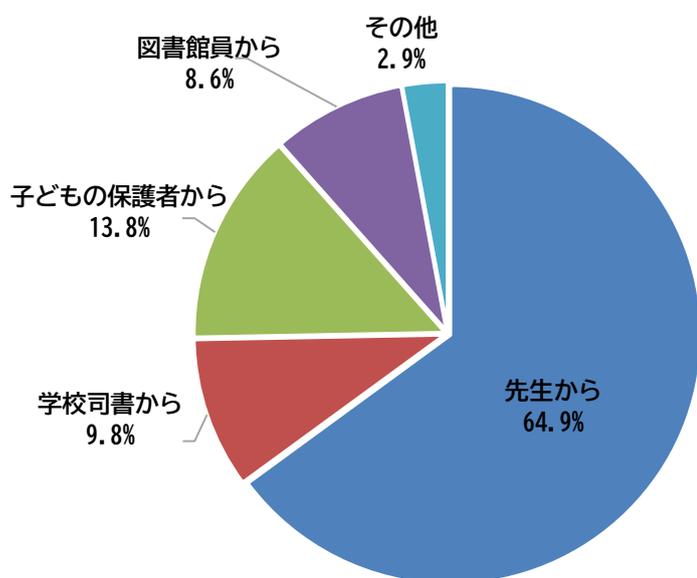
- ・子供向けの本が多く、中高生が読みたい本が少ない。小説などを増やす。

- ・ 難しい本も出すべき。
- ・ 書籍を増やすだけが方法ではないと思います。もっと大々的に広めてみては？図書室に電子書籍のQRコードを貼るなどするのはどうでしょう。知らない人が多いだけだと思います。

【問 16】 電子書籍サービスの利用を拡大するためには、子どもに対して誰から使い方の説明を行うと効果的だと思いますか。(回答は1つ)

1 先生から	4 図書館員から
2 学校司書から	5 その他（具体的に： )
3 子どもの保護者から	

選択肢	回答数	回答割合
先生から	113	64.9%
学校司書から	17	9.8%
子どもの保護者から	24	13.8%
図書館員から	15	8.6%
その他	5	2.9%
計	174	100.0%



n=174

☆ 電子書籍サービスの利用を拡大するために、子どもに対して誰から使い方の説明を行うと効果的だと思うかについて、「先生から」が64.9%で最も多く、次いで「子どもの保護者から」が13.8%の割合になりました。

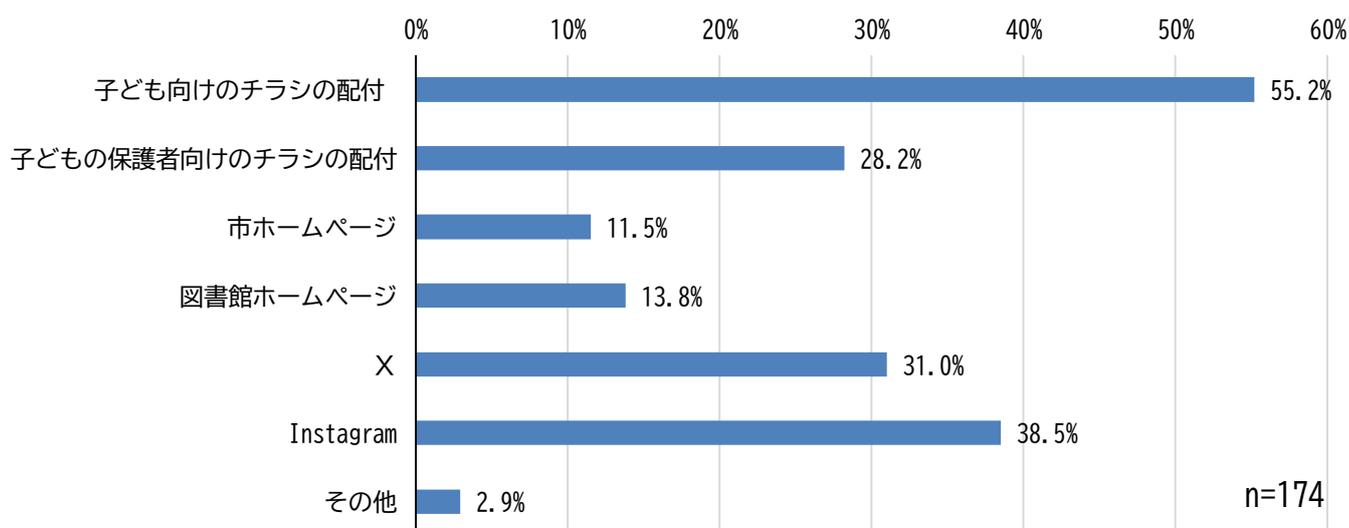
《その他の主な意見》

- ・保護者に使い方を書いたテキストを渡し、家庭で説明をしてもらう。
- ・有名な人（子どもから人気のある）
- ・それを利用している友達など。親や先生より友達のほうが身近に感じ利用すると思う。

【問 17】 電子書籍サービスを周知するためには、どのような方法が効果的だと思いますか。（回答は2つまで）

1	子ども向けのチラシの配付	5	X
2	子どもの保護者向けのチラシの配付	6	Instagram
3	市ホームページ	7	その他（具体的に： ）
4	図書館ホームページ		

選択肢	回答数	回答割合
子ども向けのチラシの配付	96	55.2%
子どもの保護者向けのチラシの配付	49	28.2%
市ホームページ	20	11.5%
図書館ホームページ	24	13.8%
X	54	31.0%
Instagram	67	38.5%
その他	5	2.9%



☆ 電子書籍サービスを周知するために、どのような方法が効果的だと思うかについて、「子ども向けのチラシの配付」が 55.2%で最も多く、次いで「Instagram」が 38.5%の割合になりました。

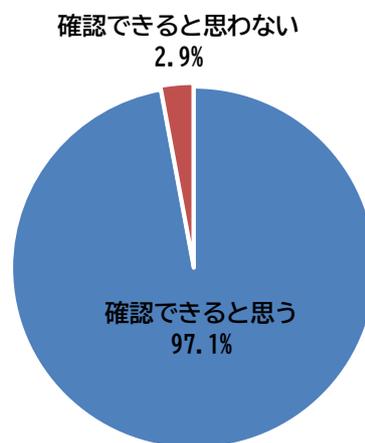
≪その他の主な意見≫

- ・「このような取り組みをしています」というようなプチ告知動画を作り、小中学校の空いている時間で放送するのもいいと思う。
- ・人気 YouTuber からの宣伝
- ・学校のホームページなど（たまに見ている生徒もいるため）
- ・図書室に掲示

【問 18】 「電子書籍サービス」が効果的な取組になっているかどうかを確認するために、小中学校の児童生徒に対し、「あなたは、電子書籍サービスによって読書が身近になったと感じますか」という質問でアンケート調査をしたいと考えています。この質問で電子書籍サービスが効果的な取組になっているか確認できると思いますか。(回答は1つ)

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| 1 確認できると思う | 2 確認できると思わない (⇒問18-1へ) |
|------------|------------------------|

選択肢	回答数	回答分布
確認できると思う	169	97.1%
確認できると思わない	5	2.9%
計	174	100.0%



n=174

☆ 「電子書籍サービス」が効果的な取組になっているかどうかを確認するために、「あなたは、電子書籍サービスによって読書が身近になったと感じますか」という質問で、電子書籍サービスが効果的な取組になっているかどうかを「確認できると思う」が97.1%、「確認できると思わない」が2.9%の割合になりました。

《問 18 で「2 確認できると思わない」とお答えの方へ》

【問 18-1】 どのような質問なら効果的な取組になっているか確認できると思いますか。(自由記入)

《主な意見》

- ・まず、身近だと感じる人がいないと思うので、今聞いてもあまり効果がないと思います。もう少し広まってから質問をしたほうが良いのでは。

今後の活用

今回のアンケートの結果では、子どもの読書活動や図書館利用について、様々な観点からご意見・ご要望等を伺うことができました。「くるくるとしょかん」や電子書籍サービスの利用拡大などを通じて、子どもの読書活動を推進してまいります。

このアンケートに関するお問合せは、こちらへお願いいたします。

相模原市教育委員会 教育局 生涯学習部 図書館

電話 042-754-3604 (直通)

〒252-0233 相模原市中央区鹿沼台 2-13-1